

【シンガポール駐在員事務所】

「シンガポール経済成長率(速報値)と金融政策の定期見直し」

○ 2011 年第 1 四半期シンガポール経済成長率(速報値)

4 月 14 日、シンガポール通産省(MTI)は 2011 年第 1 四半期(1-3 月期)の GDP 成長率(速報値)を前四半期比+23.5%(季節調整済、年率換算)と発表した。製造業が大きく回復したことが 3 四半期ぶりの高い成長率の主因。前年同期比では+8.5%。

第 1 四半期の前四半期比成長率の速報値を業種別に見ると、以下の通り。

- 製造業は、電子部品と精密機械の両分野における活発な設備投資を背景に、前四半期比+80.2%となり、昨年後半から鈍化した成長が大きく回復した。
- 建設業は民間住宅建設が拡大したことから、前四半期比+14.5%となった。
- サービス業は、銀行貸出増が金融分野に寄与したほか、卸売・小売、運輸・倉庫などの分野も好調であったため、前四半期比+8.4%となった。

シンガポールGDP成長率の推移

(単位:%)

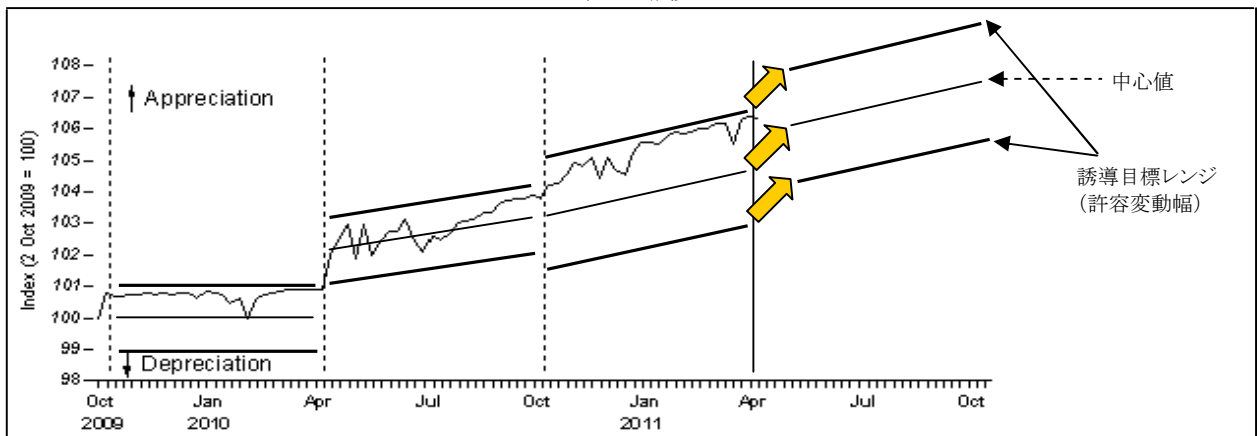
業 種	前期比(季節調整済、年率換算)					前年同期比								
	10 年					11 年		10 年					11 年	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通年	1Q	1Q	2Q	3Q	4Q	通年	1Q		
全産業	39.9*	29.7*	▲16.7*	3.9*	14.5*	23.5	16.4*	19.4	10.5	12.0*	14.5*	8.5		
製造業	170.5*	79.2*	▲48.5*	0.7*	29.7*	80.2	37.2	45.2*	13.7*	25.5*	29.7*	13.9		
建設業	▲7.0*	21.2*	▲9.6*	▲10.2*	6.1*	14.5	9.7	11.4*	6.7*	▲2.0*	6.1*	2.6		
サービス業	15.8*	14.5*	0.5*	5.6*	10.5*	8.4	11.1*	12.1*	10.2*	8.8	10.5*	7.2		

*修正値

○ 金融政策を追加引締め

同日、シンガポール通貨庁(MAS)は、金融政策の追加引締めを発表。国内における賃金上昇・インフレ懸念を踏まえて、シンガポール・ドルの名目実効為替レート(S\$NEER)の誘導目標レンジ(許容変動幅)の中心値を引き上げた。なお、許容変動幅の大きさと傾きは維持。(MASは政策金利ではなく、S\$NEERの操作により金融政策を実施している。具体的には、不況時にはシンガポール・ドル安を促し、逆に好況時にはシンガポール・ドル高を促している。)

S\$NEER 推移



----- indicates release of Monetary Policy Statement

シンガポール通貨庁は誘導目標レンジ、中心値の実数を公表していない。上記チャートはイメージ図。

以上

【出所: Press Release “Singapore’s Growth Momentum Picked up in First Quarter 2011”、
”MAS Monetary Policy Statement”、新聞記事等】

照会先: 法人ソリューション営業部 国際業務室 (東京) 電話 03-6704-2723
(大阪) 電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいようお願い致します。
* 禁無断転載